

雨もまた楽しみましょう

雨が多いこの時期、外での活動も湿りがちです。でも「晴耕雨読」という言葉があります。毎日自適にとはいきませんが、子どもたちには「雨の日なりに楽しく遊び、学ぶ」という気持ちで過ごしてほしいと思います。さて、6月は心肺蘇生法研修会に始まり、演劇鑑賞会、生きもの調査、ふれあい祭りなど数多くの学校行事や体験活動がありました。これらのイベントでは、保護者・地域・学校の強い結び付きを実感しました。こんな羽生田地区を大切にしていきたいと思います。みんなで力を合わせて、羽生田の子どもたちを育てていきましょう。

※今回は紙面の都合上、壬生町陸上記録会特集とし、その他の行事紹介は次号に掲載します。

壬生町小学生陸上記録会 6/6

時折雨のぱらつく曇り空のもと、陸上記録会が開催されました。本校から4・5・6年生が出場し、約1ヶ月間の練習の成果を発揮しました。多くの児童が自己記録を更新し、躍動感あふれる大会でした。1日1日の成長はほとんど目に見えないものであっても、それが積み重なることで確実に力は伸びていきます。そして何より、子どもたちが「頑張った」と実感できたことが大きな財産になると思います。また、会場では頑張る選手の背中を押す応援の姿にも感動しました。保護者やご家族の応援も大きな力になりました。練習から大会当日まで、下校時の迎えをはじめ、温かいご支援ありがとうございました。



入賞おめでとう

6年女子 800m	2位	山口和香
6年女子 100m	4位	秋沢咲樹
6年女子走り幅跳び	3位	小野松香
6年女子走り幅跳び	4位	池亀愛壬
6年女子走り高跳び	4位	樺山 舞
6年男子走り幅跳び	4位	落合肖太

ありがとうございます

☆鈴木岩夫様より全校児童に歯ブラシをいただきました。
 ☆別井春江様よりたくさんの手作り雑巾をいただきました。



PTA活動 地域活動

6月16日 第1回生きもの調査（夢・はにしの里協議会主催）

肌寒い曇り空でしたが、子どもたちは元気に集合し、足かけ12年、22回目の生きもの調査が実施されました。羽生田地域の自然を知り、大切に作る心を育てたいです。

6月20日 第2回PTA運営委員会

今後の活動や次年度に向けてのPTA組織改編について確認しました。

6月24日 通学路除草作業

水路沿いや台宿坂下、学校坂をきれいにさせていただきました。参加して下さった本部役員・環境部・ご協力くださった保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

6月27日 臨時PTA総会・授業参観・懇談会

来年度からのPTA組織改編や会則の改正について、会員の皆様より承認をいただきました。



第2回学校運営協議会 6/13

※本校は本年度からコミュニティ・スクール制を導入しました。

コミュニティ・スクールについて

○コミュニティ・スクール『地域と共にある学校へ』

- ・コミュニティ・スクール→社会総掛かりで子どもたちを育むとともに、学校と地域の両方を活性化する。
- ・学校運営協議会→義務教育9年間で子どもたちをどう育てていくかを話し合う場。そこで保護者・地域が学校運営に参加し、それぞれが責任を分かち合う。
- ・小中連携教育→小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す。
小・中学校が目指す子ども像を共有し、中3卒業時の姿をイメージして指導する。

○「コミュニティ・スクール」が生み出すもの

- ・学校支援ボランティアの拡がり
- ・活動を通して学校を理解する
- ・学校を好きになる／地域を好きになる
- ・人と人をつなぐ／地域と学校をつなぐ

学校を核として
活気ある地域をつくる



小規模特認校について

○小規模特認校とは

小規模校できめの細かい教育を受けたい、または当該学校の教育環境や特色ある教育に共感し、入学を希望する者に対して、町内にある現住所のまま、町が定める入学許可条件の下に、小規模特認校として指定された学校に転入学を認める制度です。

○「選ばれる学校」となるために

学区外からの通学は保護者の送迎が条件となります。その負担に代えてでも本校での教育を選択してもらうには、他の学校にはない本校独自の特色や魅力を示さなくてはなりません。また、小規模校での教育の弱点と見られていることや保護者の不安を解消することも必要です。それには学校を外部（保護者）からの目線で見つめ直し、『選ばれる学校』となるよう職員・児童・保護者・地域が共通の意識を持って、一丸となって進めていくことが成功への大きな鍵となります。

○本校のよさを維持しつつ

本校ではこれまで「小規模校だからこそできる教育」を推進してきました。全校合奏や地域が一体となって開催する運動会、わんぱく班による異年齢集団活動、すべての児童に必ず活躍の場が巡ってくる各種の行事・活動等。また、地域を挙げての児童育成や、日々子どもたちに目を配り、全職員が一人ひとりの児童に応じてきめの細かい指導を行っています。それは、学区外の人たちにとってはあまり目立たない、地味な、当たり前のことと映ってしまうかも知れません。しかし、本校の児童にとっても、学区外から来るであろう児童にとっても、その地味な、当たり前なのが最も特徴的で、大切なことであると考えています。

※ 今回の協議会には、コミュニティ・スクールについて、下都賀教育事務所より竹田昌彦学校支援課長が、小規模特認校について、元大宮南小学校長の山田裕之氏が講師として参加し、示唆に富んだ話を聞かせていただきました。